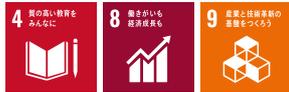


□ 要請番号 (JL01826A01)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タイ	G157 日本語教育	20~45 歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2026/3・2027/1・ 2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

タマサートクロンルアンウィッタヤーコム中高校

3) 任地 (パトゥムターニー県クロンルアン郡) JICA事務所の所在地 (バンコク都)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (鉄道+車で約 1.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、1973年に設立された公立の中高一貫校。生徒数約5,300名、教職員数約230名。外国語教育としては、日本語、英語、中国語、韓国語、ミャンマー語の授業を実施。日本語教育は1993年から開始、中部地域の日本語教育センター校(拠点校)として、パトゥムターニー県及び周辺4県(サラブリー県、ロップリー県、アーントーン県、シンブリー県)の中高校における日本語教育を牽引する役割を担う。教育省より日本語センター校特別予算あり。JICA海外協力隊は4名(内1名は日本語教育)、国際交流基金の日本語パートナーズは1名の派遣実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先の日本語教育では、中学生とEnglish Program専攻の高校生に選択科目として週に2コマ、日本語専攻の高校生に必須科目として週8コマの授業が実施されている。生徒は、日本語能力試験のN5、N4の取得を目指し意欲的に日本語学習に取り組む生徒もいれば、学習の動機がなく授業に前向きではない生徒もいるのが現状である。そのような中、楽しい日本語の授業や日本文化紹介により、生徒一人ひとりが各々の動機・目的をもって学習に取り組めるようモチベーションを上げ、日本語能力の向上につなげていくことが期待されている。前任は2026年5月迄活動予定。日々の授業づくりの工夫の他、他の隊員等の協力を得ながら日本語キャンプを企画・実施するなどしている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

タイ人教師と共に協力し合いながら、次の活動を実施する。

- チームティーチング等の形態で、日本語の授業を実施する。(1コマ50分、週約18コマ程度)
- クラブ(週1回)、日本語キャンプ(年2回)、学校行事等において日本語学習の機会や日本文化紹介を企画、実施する。
- 日本語コンテスト(年2回程度)や日本語能力試験等に向けた指導や助言を行う。
- 教材作成など、日本語教育の充実に向けて学習環境を整備する。
- センター校が担当する地域の日本語教育の向上を目的とした活動を企画・実施する。
- 可能であれば、他校の隊員や日本語教育関係者と緩やかに連携し、情報共有等の協力活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教材(『あきこと友だち』、『こはるといっしょに』)、ホワイトボード、プリンター、プロジェクター、日本文化紹介用物品(浴衣、書道用紙、墨汁、けん玉、駒、かるた、百人一首、法被、太鼓、抹茶セット、等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

- 配属先同僚:

日本語教師4名(女性、経験2～9年、N1～N2、日本留学経験1～2年、訪日研修経験0～1回)

・主な活動対象者:

選択科目:中学1～3年生約400名、English Programコースの高校1～3年生約50名

必須科目:日本語専攻の高校1～3年生約120名

5) 活動使用言語

タイ語

6) 生活使用言語

タイ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)又はタイ語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (日本語教育に関する資格が必須)

[学歴]: (大卒) 備考: 大卒以上の同僚と協働するため

[性別]: () 備考:

[経験]: (実務経験) 2年以上 備考: 授業実施、センター校業務支援有

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (22～38℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

日本語教師以外の同僚や生徒等とはタイ語が必須。2学期制(5月～9月、11月～3月)。タイの単身用住居はキッチンや洗濯機がない住居が一般的。[配属先facebookはこちら](#)

【類似職種】